

公立芽室病院運営委員会議事録

日時 令和4年3月28日（月）

18:30～19:30

場所 公立芽室病院3階職員研修室

1 出席委員（敬称略）

村上哲也、尾田憲子、安藤功、岩野真志、吉口美喜子、飯島裕治、中川ゆかり、鳥本勝信、北林奈美、西村有里（10名）

2 欠席委員（敬称略）

児玉渉、田口聡明（2名）

3 町出席者

佐野寿行副町長

4 病院出席者

研谷智院長、田中俊英副院長、西科純事務長、半澤加代子総看護師長、佐藤孝生診療技術科長、森寿哉薬剤長、江崎健一事務局参事

5 事務局

佐藤文彦総務係長、多田敬介医事係長、杉本康次経営企画係長、林徹哉総務係主任

6 議題

（1）公立芽室病院新・改革プラン改定（5次）について

ア 中川会長に諮問書を交付した。

イ 事務長より新・改革プラン（5次）について説明した。

ウ 質疑・意見等

委員 10ページの人材育成・サービス強化について、具体案はあるのか。

事務長 受付・会計窓口について、委託業者の窓口対応が良くなかった。また、患者さんを会計でお待たせすることも多かった。新年度からは直営化を行い、マナーの徹底等を計画的に実施していきたい。

- 委員 人材育成においては、お客様は費用対効果を求めるものである。P D C Aサイクルを踏まえてしっかり実施してほしい。
- 事務長 過去に窓口等満足度調査を行った経過がある。そういったものを取り入れながら院内体制を見つめ直すことも大切であると考えている。研修についても実施する予定である。
- 委員 プランについては文書量が多いにも関わらず、非常にわかりやすいものになっている。
- 委員 個人的な意見であるが、5年・10年先のビジョンは総合診療的なもので良いと思うが、さらに先を見据えた場合、人口減少局面においてはベッド数を減らすだけで良いのか。ある程度今から動いておかないと、医療現場を支える職員がいなくなってしまうのではという心配がある。出生率を上げるなど、行政単位から動いていかないとこの病院のことも考えることができないのではないか。
- 委員 公立芽室病院は24時間診療を行っているという安心感がある。できれば少しでも長く現体制を維持していただきたい。
- 委員 地域包括ケアシステムを担うということに期待している。24時間訪問看護ステーションの整備を含め、急性期医療を終えた方々の行き場があるという安心感があり、非常に期待している。
- 委員 コロナ禍がどれだけ続くかはわからないが、ICNの配置など、確実に対策を講じていただいております、いい方向に進んでいると感じている。人口減少局面においてどうしていくのかは今後課題となってくる。最終的なセーフティネットとしてはもちろん、予防医療等、健康で長生きできるような暮らしを目指せるのが『芽室町』であるというようにしてもらいたい。町行政を含めしっかりとやっていってもらいたい。
- 委員 公立病院として、コロナ禍において幅広く対応していただいている。身近な病院としては日々改善していると感じている。ただ、かかりつけ病院としてどのように頼れるのかなどもっとわかってもらえる工夫があれば良いのではないかと。P T等が行った予防医療に関しても理解してもらえると浸透すると思うし、良い取り組みであると感じている。何か病院に行きやすい仕掛けなどがあると良い。
- 委員 新・改革プランを改定する中で、外部コンサルを入れて検証等を行ったと思うが、コンサルの成果についてもう少し早く伝えてもらえるとより理解できたのではないかと。コロナ対応により黒字も見込めるようであるが、一過性のものなので、引き続き経営改

善に努めてもらいたい。
会 長 原案のとおり答申する。

(2) 公立芽室病院経営形態見直しについて

ア 参事より経営形態見直しについて説明した。

イ 質疑・意見等

特になし。

(3) その他

ア 事務長より機構図・職員配置図、運営委員会委員の改選日（国保運営協議会関連）について報告した。

イ 質疑・意見等

特になし。